PSG 武蔵野永住品質パネル／Ｂ０サイズ（H1030×W1456）

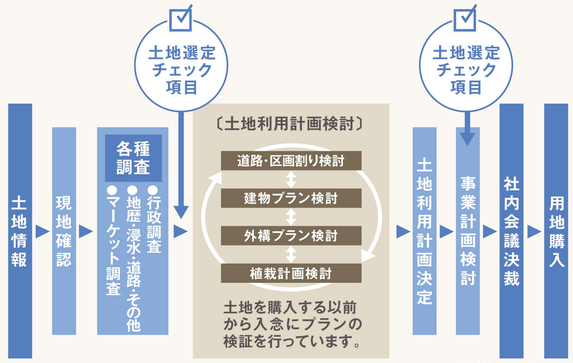
PROUD SEASON

永住品質へのこだわり

厳しい土地選定基準に基づいた用地選定

安心・安全にお住まいいただくために、独自の選定基準を設けて土地を取得。

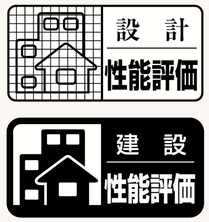
プラウドシーズンの用地選定は、土地の安全性に重きを置いて選定しています。その土地の過去の地歴を調査し、浸水や崩落の有無、かつて使用されていた用途などを調べ、住宅にふさわしい土地かを見極めています。また、都市計画などを入念に調査することにより、その時点で予見されるトラブルやリスクを回避・軽減できるようにプランニングしています。さらに「便利な場所で戸建てに住みたい」というニーズにお応えするために、都心近郊と、都心へのアクセスが良い場所に実績が集中しています。都市性と住環境が両立できるかどうかも、土地選定の重要な判断の基準となります。



用地取得までのチェックフロー図

住宅性能評価書

国土交通省の認定を受けた第三者評価機関が全国共通ルールのもと、住宅の性能を公平な立場で評価し、その結果を表示した書面を取得することで住まいの信頼性を高め、安心の住宅ローン「フラット35」を利用することができます。



等級2 劣化対策等級

通常想定される自然条件及び維持管理の条件の下で2世代（おおむね50年～60年）まで、大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸長するため必要な対策が講じられている。

等級4 断熱等性能等級

熱損失等の大きな削減のための対策（建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令）が講じられている。

等級5 一次エネルギー消費量等級

一次エネルギー消費量のより大きな削減のための対策（基準省令に定める建築物のエネルギー消費性能の向上の一層の促進のために誘導すべき基準）が講じられている。

等級3 ホルムアルデヒド対策等級

居室の内装の仕上げ及び換気等の措置のない天井裏等の下地材等からのホルムアルデヒドの発散量を少なくする対策。

－地盤調査（スウェーデン式サウンディング調査）－

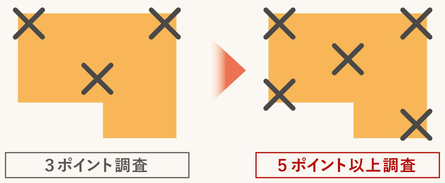
安定した基礎を築くための しっかりとした地盤調査。

全物件3段階による地盤調査

1 土地取得前
地盤の専門会社による地盤状況の調査（当該地周辺のボーリング調査確認、当該地の周辺状況の確認・新旧地形確認、地質図確認など）を行い、次下祭念がないか確認。

2 土地取得後
計画地内でボーリング調査を行い、調査結果を踏まえた造成計画および工事を行う。

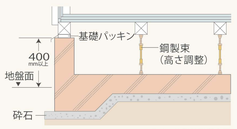
3 建物着工前
建物施工会社で各宅地ごとに、5箇所のポイントでスウェーデン式サウンディング調査を行い、その調査結果を踏まえた建物計画および工事を実施。



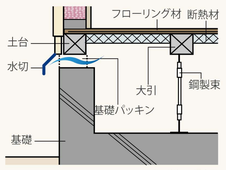
－スラブ一体型基礎－

強度と防湿性を高める 鉄筋スラブ一体型基礎

基礎部分に鉄筋スラブ一体型基礎（ベタ基礎）を採用。地震に対して優れた耐震性と耐久性、さらに防湿性を兼ね備えた住まいを追求しています。



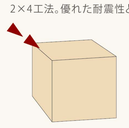
スラブ一体型基礎概念図

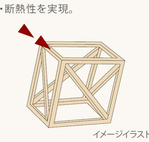


床下換気口 概念図

－耐震性に優れた「2×4工法」－

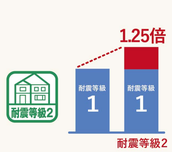
地震や台風などの外部からの力を面全体で受け、荷重を分散させる2×4工法。優れた耐震性と気密性・断熱性を実現。


イメージイラスト


イメージイラスト

■ 2×4工法
外部からの力を面全体で受け止め、荷重を分散させることで、単位面積あたりの荷重を少なくします。

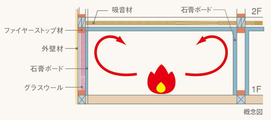
■ 軸組工法
外部からの力を主に柱と梁で受け止めるため、一本の部材にかかる力が大きくなります。



「耐震等級2」を取得

火に強い ファイヤーストップ構造

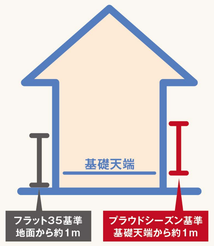
ファイヤーストップ構造とも呼ばれる2×4工法は、1階と2階や各居室の「火の通り道」をファイヤーストップ材でシャットアウト。火が石膏ボードを通過した場合でも、壁の中を伝わって燃え広がるのを抑える効果があります。



概念図

－シロアリ対策－

防蟻施工写真

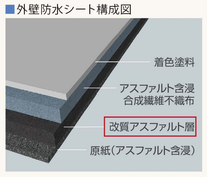


シロアリ対策

木材に巣くうシロアリ。フラット35の基準では、地面から約1mの高さまでの範囲に防蟻措置を行うことと定められています。プラウドシーズンは基礎天端から約1mの範囲に、目視確認できる着色した防蟻薬剤を塗布する独自基準で施工しています。

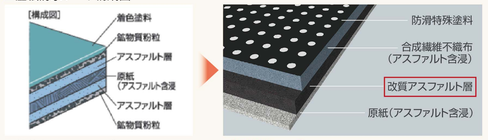
－防水シート－

■外壁防水シート構成図



外壁と屋根の下張材には改質アスファルト防水シートを採用。高温でたるみにくく、低温で割れにくい特性や弾性を備えています。釘穴に対する防水性や耐久性にも優れています。

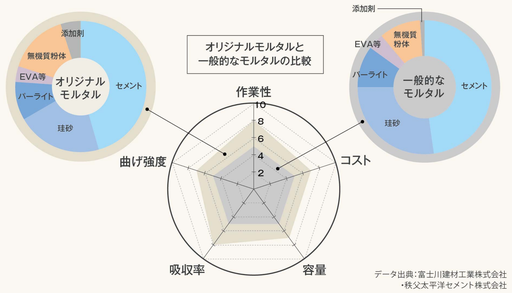
■屋根防水シート構成図



一般的なルーフィング　　プラウドシーズン

－NFモルタル－

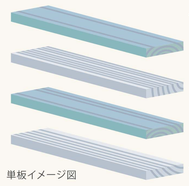
外観デザインを支える素材として、一般的なモルタルと配合成分を変えた、オリジナルのNFモルタルをモルタルメーカーと共同で開発しました。一般品には配合されていない樹脂や収縮低減剤が配合されており、初期乾燥における急激な水分の蒸発を抑えて、ひび割れを起きにくくします。また、硅砂を少なくして、無機質粉体などを多く配合することで独自の高品質を実現しました。



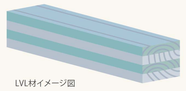
データ出典：富士川建材工業株式会社・秩父太平洋セメント株式会社

－LVL（単板積層材）－

建物の土台には木材を薄く削り圧着させたLVL（単板積層材）を採用。断熱性や復元性などの木材自体が持つ良さを活かしながら、変形や劣化に強く防腐性・防蟻性も向上した機能性に優れた素材です。そのLVLを建物の土台に採用しているため、耐久性に優れ床鳴りなどを軽減する効果もあります。


単板イメージ図

積層接着する際に単板の繊維方向を平行に積層することで、強度を高めています。


LVL材イメージ図

LVLのせん断に対する抵抗力は

アメリカマツの 約1.5倍

一般集成材の 約1.2倍

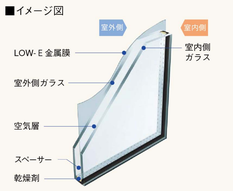
出典：株式会社ウッドワン資料より

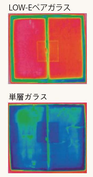
※LVLとは、ラミネイテッド・ベニア・ランバー（Laminated Veneer Lumber）の略で、日本語では単板積層材と呼ばれています。

－Low-E複層ガラス－

夏は室内に入る太陽の熱線を軽減。冬は室内の熱を逃がさず、冷暖房効果を高めます。

■イメージ図





■日射熱取得率比較

断熱 LOW-E ガラス	複層ガラス	単板ガラス
100 / 54 / 46%	100 / 21 / 79%	100 / 12 / 88%

※玄関ドアを除く全ての窓に採用